

第6回 小テスト: examA

- コインを1万回投げた時に、表と裏になる回数はそれぞれ何回か？ 下記のように表示せよ
 - 予習資料には「回」が入っていなかったが、「回」を入れるようにせよ

出力例

表の数は5023回
裏の数は4977回

第6回 小テスト: examB

- 400x300のウィンドウを作成し, その中心に直径150ピクセルの円を表示せよ. また, その円内をクリックするたびにAさんとBさんがランダムにジャンケンの手を出し, その結果を下図のように標準出力するプログラムを作成せよ

クリック!

Aさんはグー
Bさんはチョキ
Aさんの勝ち

クリック!

Aさんはグー
Bさんはグー
引き分け

クリック!

Aさんはチョキ
Bさんはチョキ
引き分け

クリック!

Aさんはグー
Bさんはパー
Bさんの勝ち

参考情報

- `size(w, h)` 横幅w, 縦幅hのウィンドウを作成
- `rect(x, y, w, h)` 左上(x, y)で横幅w, 縦幅hの四角形を描画
- `triangle(x1,y1,x2,y2,x3,y3)` (x1,y1), (x2,y2), (x3,y3)からなる三角形描画
- `fill(r, g, b)` 図形の塗りつぶし色を(r, g, b)に設定
- `noFill()` 図形を塗りつぶさない
- `stroke(r, g, b)` 輪郭線の色を(r, g, b)に設定
- `noStroke()` 輪郭線を描画しない
- `background(r, g, b)` 背景を(r, g, b)の色で塗りつぶす
- `frameRate(fps)` 1秒あたりのフレーム数を fps で指定
- `random(m, n)` m以上n未満の実数値をランダムに取得する
- 色の情報
 - 赤(255, 0, 0), 緑(0, 255, 0), 青(0, 0, 255), 黄(255, 255, 0)
 - 黒(0, 0, 0), 白(255, 255, 255), 灰(127, 127, 127)
- 変数について
 - `frameCount` 描画フレーム数
 - `mouseX, mouseY` マウスのX, Y座標

小テスト補足

- 他のすべてのアプリを終了せよ
- 資料配布フォルダの**06_exam** というフォルダをデスクトップにコピーし、そのフォルダ名を、年-組-番号に変更せよ
- 提出用フォルダを事前に開いておき、2つのプログラムをProcessingで起動せよ
- プログラムには作成者の名前と年組番号は記入するようにせよ（年月日やプログラムの内容は各自の判断で）
 - 日本語を入力できない場合は、英語で入力してもよい（名前など）
- 年-組-番号のフォルダを提出せよ
 - 他人のフォルダに提出しないように注意せよ
- 不正が疑われるような行動はしないようにせよ
 - ファイルアクセスの履歴はすべて記録されていますし、デスクトップは前方から監視できるので要注意！
- 小テストは、試験時間中に提出せよ